

歴代会長等一覧

1950 (昭和 25) 年度～ 1951 (昭和 26) 年度	羽田 伊太郎 (八幡)
1952 (昭和 27) 年度～ 1953 (昭和 28) 年度	野間 シゲ (潮江)
1954 (昭和 29) 年度～ 1956 (昭和 31) 年度	羽田 伊太郎 (八幡)
1957 (昭和 32) 年度～ 1960 (昭和 35) 年度	中西 興一 (杭瀬)
1961 (昭和 36) 年度～ 1965 (昭和 40) 年度	中村 千世 (ミード)
1966 (昭和 41) 年度	中澤 修 (常光寺)
1967 (昭和 42) 年度～ 1968 (昭和 43) 年度	松本 きく柔 (みのり)
1969 (昭和 44) 年度～ 1970 (昭和 45) 年度	岡野 敏雄 (七松)
1971 (昭和 46) 年度～ 1972 (昭和 47) 年度	羽田 伊太郎 (八幡)
1973 (昭和 48) 年度～ 1975 (昭和 50) 年度	中西 興一 (杭瀬)
1976 (昭和 51) 年度～ 1977 (昭和 52) 年度	岡野 敏雄 (七松)
1978 (昭和 53) 年度～ 1983 (昭和 58) 年度	中西 興一 (杭瀬)
1984 (昭和 59) 年度～ 1986 (昭和 61) 年度	瀧名 昭 (武庫愛の園)
1987 (昭和 62) 年度～ 1988 (昭和 63) 年度	中西 興一 (杭瀬)
1989 (平成 元) 年度～ 1998 (平成 10) 年度	高橋 佐千夫 (園田慈愛)
1999 (平成 11) 年度～ 2000 (平成 12) 年度	二返 清 (しもさかべ)
2001 (平成 13) 年度～ 2005 (平成 17) 年度	高橋 佐千夫 (慈愛)
2006 (平成 18) 年度～ 2012 (平成 24) 年度	瀧名 浩 (立花愛の園)
2013 (平成 25) 年度～	中西 利栄 (杭瀬)

歴代加入幼稚園名 (41 園) ※順不同

ミード幼稚園	梅花東幼稚園	武庫愛の園幼稚園
難波幼稚園	みのり幼稚園	たけその幼稚園
からたち幼稚園	東光幼稚園	武庫東からたち幼稚園
常性幼稚園	まこと幼稚園	園田学園幼稚園
恵光幼稚園	カピラ幼稚園	百合学院幼稚園
潮江幼稚園	水堂幼稚園	戸の内幼稚園
慈愛幼稚園	七松幼稚園	園田慈愛幼稚園
杭瀬幼稚園	明和幼稚園	母智幼稚園
八幡幼稚園	めぐみ幼稚園	難波愛の園幼稚園
常光寺幼稚園	立花愛の園幼稚園	大神宮幼稚園
しもさかべ幼稚園	みこころ幼稚園	すみれ幼稚園
梅花幼稚園	武庫之荘幼稚園	尼崎健康幼稚園
浜幼稚園	武庫からたち幼稚園	立花こひつじ幼稚園
神崎製紙付属幼稚園	法輪幼稚園	



尼崎市
私立幼稚園

年度(西暦/和暦)	尼崎市総人口(人)	総世帯数(戸)	0～6歳児の数(人)	総園児数	尼崎市 私立幼稚園数
1984(昭和59)年度	502,189	183,141	41,875	8,155	38
1985(昭和60)年度	501,773	183,984	40,700	7,974	37
1986(昭和61)年度	499,552	184,384	39,418	7,709	35
1987(昭和62)年度	497,212	185,383	38,164	7,654	35
1988(昭和63)年度	494,946	186,315	37,175	7,802	35
1989(平成元)年度	493,235	187,955	35,772	7,691	35
1990(平成2)年度	490,934	189,325	34,530	7,809	34
1991(平成3)年度	489,775	191,211	33,792	7,836	34
1992(平成4)年度	488,606	193,063	33,156	7,858	34
1993(平成5)年度	486,938	194,837	32,587	7,419	34
1994(平成6)年度	481,300	193,971	31,983	7,068	31
1995(平成7)年度	477,910	194,045	31,498	6,578	29
1996(平成8)年度	474,383	195,201	30,874	6,350	27
1997(平成9)年度	470,862	196,280	30,542	6,107	27
1998(平成10)年度	468,389	197,566	30,442	5,853	27
1999(平成11)年度	466,380	198,565	30,412	5,722	26
2000(平成12)年度	464,170	199,174	30,292	5,649	26
2001(平成13)年度	463,256	200,616	29,956	5,699	26
2002(平成14)年度	462,386	202,087	29,919	5,759	26
2003(平成15)年度	462,082	203,748	29,845	5,864	26
2004(平成16)年度	460,263	204,873	29,273	5,889	25
2005(平成17)年度	459,568	206,887	28,732	5,808	25
2006(平成18)年度	458,958	209,116	28,271	5,869	25
2007(平成19)年度	458,603	210,951	27,968	5,867	24
2008(平成20)年度	459,933	213,638	27,918	5,767	24
2009(平成21)年度	460,245	215,859	27,588	5,566	24
2010(平成22)年度	458,754	216,844	27,365	5,642	24
2011(平成23)年度	457,216	217,786	27,141	5,756	24
2012(平成24)年度	467,673	224,883	27,389	5,859	24
2013(平成25)年度	466,034	225,589	27,170	5,908	24
2014(平成26)年度	464,562	226,568	26,594	5,902	24
2015(平成27)年度	463,662	228,229	26,112	5,683	24
2016(平成28)年度	463,463(9/30時点)	229,102(9/30時点)	25,975(9/30時点)	4,888(速報値)	24

※尼崎市総務局情報統計担当に問い合わせ「推計人口」等の数字の提供を受け、「尼崎市史第九巻史料編(統計)」・「尼崎市統計書」を参考文献として調べたものです。

※昭和25年度～50年度の「0～6歳児の数(人)」については、5年ごとの国勢調査時の数字のみとなっております。

※平成28年度における「尼崎市私立幼稚園総園児数」は、速報値であり確定値については追って公表されます。

尼崎市私立幼稚園関連

65年間のデータ

年度(西暦/和暦)	尼崎市総人口(人)	総世帯数(戸)	0～6歳児の数(人)	尼崎市 私立幼稚園 総園児数	尼崎市 私立幼稚園数
1950(昭和25)年度	279,269(以降12/31時点)	63,600(以降12/31時点)	51,313	335	3
1951(昭和26)年度	306,303	69,614	↑	不明	不明
1952(昭和27)年度	318,167	71,800	この間、不明	不明	7
1953(昭和28)年度	343,622	78,949	↓	1,844	12
1954(昭和29)年度	355,438	83,052	↓	2,592	19
1955(昭和30)年度	335,513	77,033	50,333	2,653	29
1956(昭和31)年度	348,471	80,526	↑	3,337	33
1957(昭和32)年度	365,765	84,987	↑	3,386	33
1958(昭和33)年度	378,156	88,522	この間、不明	3,438	33
1959(昭和34)年度	388,727	91,667	↓	3,559	34
1960(昭和35)年度	405,955	101,854	45,788	4,165	35
1961(昭和36)年度	432,658	111,092	↑	4,756	35
1962(昭和37)年度	455,322	120,409	↑	5,404	35
1963(昭和38)年度	475,415	129,460	この間、不明	5,769	36
1964(昭和39)年度	492,435	136,983	↓	6,582	36
1965(昭和40)年度	500,990	135,938	61,641	6,893	37
1966(昭和41)年度	515,723	142,786	↑	7,090	36
1967(昭和42)年度	529,914	147,935	↑	7,510	35
1968(昭和43)年度	539,774	170,298	この間、不明	8,275	37
1969(昭和44)年度	547,585	176,362	↓	9,453	37
1970(昭和45)年度	553,696	162,027	74,765	9,901	37
1971(昭和46)年度	552,008	162,039	↑	9,615	37
1972(昭和47)年度	550,179	161,737	↑	9,831	38
1973(昭和48)年度	548,767	162,490	この間、不明	10,940	38
1974(昭和49)年度	548,090	164,069	↓	11,404	40
1975(昭和50)年度	545,783	170,999	72,534	11,069	39
1976(昭和51)年度	533,510(以降年度末時点)	184,009(以降年度末時点)	66,764	10,759	39
1977(昭和52)年度	528,677	183,196	63,414	10,364	39
1978(昭和53)年度	522,775	181,555	59,459	10,261	39
1979(昭和54)年度	518,994	181,504	55,336	9,591	38
1980(昭和55)年度	514,021	180,441	51,688	9,269	38
1981(昭和56)年度	510,448	180,375	48,511	9,039	38
1982(昭和57)年度	507,350	180,733	45,919	8,808	38
1983(昭和58)年度	505,831	181,569	44,066	8,523	38

次頁へ続く

尼崎市私立幼稚園連合会 主なできごと年表



尼崎市私立幼稚園連合会の動き

- 1950年 「尼崎市私立幼稚園連合会」結成
初代会長に八幡幼稚園・羽田伊太郎氏
「慈愛幼稚園」「難波愛の園幼稚園」開園
- 1952年 「みどり幼稚園」「抗潮幼稚園」開園
- 1953年 「園田学園幼稚園」「七松幼稚園」「百合学院幼稚園(聖母幼稚園)」「みどり幼稚園」「常光寺幼稚園」「しもさかへ幼稚園」開園
- 1954年 「法輪の園(母智幼稚園)」「浜幼稚園」「からたち幼稚園」開園
- 1955年 連合会会則を作成
「明和幼稚園」「梅花幼稚園」「めぐみ幼稚園」「立花愛の園幼稚園」開園
- 1956年 「兵庫之荘幼稚園」開園
- 1963年 母親対象講演会 第1回開催
- 1964年 「兵庫からたち幼稚園」開園
教育研究会を編成
- 1966年 「兵庫愛の園幼稚園」開園
- 1972年 「梅花東幼稚園」開園
- 1974年 「はげぞの幼稚園」「兵庫東からたち幼稚園」開園
- 1976年 教員宿泊研修を小諸(藤村健郎)にて実施
- 1977年 「園田慈愛幼稚園」開園
- 1989年 「こっ子の豊かな体験
「園外保育ガイドブック」作成

尼崎市と教育・保育に関する主なできごと

- 1950年9月 ジェーン台風により市内の東海道本線以南が甚大な被害に遭う
- 1951年4月 阪本勝、市長に初当選
- 1952年11月 第1回尼崎市教育委員会開催
- 1953年4月 「尼崎市民時報」が「市報あまがさき」と改題され、月刊から月2回刊になった
- 1954年4月 開門(尼ロック)完成
- 1954年8月 阪本市長が市議会にて「幼稚園の運営は私立一本建てにする方向に進むべき」と答弁(「尼崎市戦後教育史」より)
- 1954年12月 薄井一敏、市長に初当選
- 1956年 「幼稚園教育要領」刊行
- 1956年 「幼稚園設置基準」発令
「幼稚園教育要領」改訂
- 1963年7月 各神高速道路(尼崎・美濃(滋賀県)間)が日本初の高速道路として開通
- 1964年 「幼稚園教育要領」改訂
- 1966年 全国に先駆けて保護者補助金制度を実施(一人年間4800円)「続 尼崎市戦後教育史」より
- 1966年12月 藤田隆義、市長に初当選
- 1970年10月 市人口が55万人を越え最高となる(国勢調査)
- 1972年10月 第1回尼崎市民まつり開催
- 1978年7月 塚口南再開発事業により阪急塚口駅の南側に商業施設・住宅などからなる「さんさんタウン」が開業した
- 1978年11月 野草平十郎、市長に初当選
- 1989年 「幼稚園教育要領」改訂
- 1994年11月 宮田良雄、市長に初当選
- 1995年1月 阪神淡路大震災発生
- 1998年 「幼稚園教育要領」改訂
- 1999年 エンゼルプランあまがさき策定
- 2001年4月 兵庫県で初となる特別市の指定を受け移行
- 2002年11月 白井文、市長に初当選(全国最年少女性市長・当時)
- 2005年 JR福知山線の塚口・尼崎駅間で脱線事故発生
- 2005年3月 わいわいキッズプランあまがさき策定
- 2008年 「幼稚園教育要領」改訂
- 2009年4月 兵庫県3番目となる中核市へ移行
- 2009年 JR尼崎駅北側のあまがさき緑遊新都心がランドオープンし、関西国際大学尼崎キャンパスや複合商業施設が開設される
- 2010年11月 稲村和美、市長に初当選(全国最年少女性市長・当時)
- 2014年 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」告示
- 2015年 聖トマス大学廃止で敷地と施設の一部が市に寄付される
- 2015年 「子ども・子育て支援新制度」施行
「子ども・子育て支援事業計画策定」
- 2016年 尼崎市市制100周年
- 2017年 「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」同時改訂

「生々流転」

昭和25年ジェーン台風が襲来し、高波により本市も甚大な被害を蒙る。市民の生命財産を守るため防潮堤の必要性が叫ばれ阪本市長が着手するも膨大な費用が必要となり、市・県・国の予算を合わせても不足し市民からも寄付を募り昭和30年ようやく完成に至る。その結果、市は昭和31年から5年間、財政再建団体の指定を受けることとなる。この間、幼児教育の必要性を強く認識していた同市長は本市が担うべき責務を私立幼稚園に託すと昭和29年の市議会で表明する。当時団塊の世代の幼児等が巷に溢れ、既に開園していた私立幼稚園に加え幼児教育を志す人たちが県の認可を得て次々に幼稚園を開園していく。

やがて当連合会に加盟する園数も増え会の関係者に羽田氏・西田氏・小西氏などの市会議員を擁し次第に力を強め、互いに手を携え切磋琢磨しつつ、本市が行うべき幼児教育を自らが担っているという自負のもと、教育基本法及び学校教育法に則りながら規模も環境も異なる各園がそれぞれの方法で幼児教育を展開する。

この間、市に対して必要に応じ陳情書や請願書を提出し助成金等を勝ち取っていった。殊に就園奨励費補助に関しては、公私間格差、多子世帯の負担軽減などを目的に広く著名活動を展開、他市に先駆けて制度を導入する。

また私立幼稚園に対する経常費助成制度に伴い多くの園が学費化していく中で、宗教法人に併設された園や個人立の園が廃園となる一方、第二・第三園を開く法人も現れる。

やがて少子化が始まり、母親の就労率が高まることにより保育施設が不足し幼保の枠を超えた新制度が導入されいち早く切り替える園も少なくない。

このように尼崎市私立幼稚園連合会は子供達の多様性に応えるべく様々な方法・形態で保育を展開し、かつての市の補助的立場から今や市の幼児教育を担う存在として今日に至る。

(文責 常光寺幼稚園 園長 中澤卓造)

編集後記

尼崎市私立幼稚園の歴史をまとめるという大変重要な光栄な仕事を、今、無事終えることができました。

たくさんの方の資料を探しているうちに、父が手書きで書いていたものや、昭和30年の会則など、貴重なものが次々に出てきました。研究部などの資料も山ほどあり、思い入れのある私には、どれもこれもページ数を増やしても残しておきたいものばかりでした。

責任者としてお願いした秦先生には、私ほど思い入れなく冷静に、客観的に見てもらうことができ、良い形でまとまったと思います。秦先生に全部お任せしようと思っていたのにもかかわらず、会長という立場から原稿を見せてもらって赤ペンで修正をしたり、打ち合わせをしているうちに、専門用語のわからない編集部の新任のような気持ちで、楽しく取り組ませていただきました。

ひかりのくに編集部の安藤さん、ルートツの堤谷さんには、大変お世話になりました。市役所に行って調べていただいたり、話したことをすぐに文章化していただいたり、迅速な対応をしていただいたりとおかげで、後世に残すことのできる素晴らしい記念誌が出来上がりました。たくさんのご指導もしていただき、本当にありがとうございました。ありがとうございました。

(くいせようちえん 中西利栄)

長年頓挫していた「尼私幼の歴史」編纂を、市制百周年を機に中西利栄会長の熱い思いの下によりやく完成することができました。

前職の経験から、微力ながら編集作業をお手伝いすることとなりましたが、ひかりのくに株式会社安藤氏、ルートツ堤谷孝人氏の献身的な仕事があれば、厳しい予算と制作期間内での完成はありませんでした。この場をお借りしてお礼申し上げます。

膨大な資料や岡野・濱名両先生への取材によって知ることができた尼崎市私立幼稚園のさまざまな歴史は、数多くの発見と新鮮な驚きに満ちていました。

記念誌を上梓するにあたり、先人達が真摯に築いてこられた尼崎市の幼児教育のバトンを受け継いだ者として、なお一層謙を正す思いです。

乳幼児人口が減少していく時代にあって、現在の尼私幼加入園24園の幼稚園・認定こども園が、今後も本市の子どもたちと共に歩んでいけるように、できる限りの知恵と力を出し合っていかなければならないと、あらためて感じました。

最後に、この記念誌制作に際し、お忙しいなかご協力いただいた尼私幼加入園の皆様には感謝いたします。

(はまようちえん ハタタカユキ)

尼崎市私立幼稚園連合会 加入園

現役理事長・設置者／園長名（園名）一覧

理事長・設置者名／園長名（園名）

高橋秀典／高橋とみ子（慈愛幼稚園）
高橋秀典／平本秀範（園田慈愛幼稚園）
一谷宣宏／高井依子（園田学園幼稚園）
岡野敏雄／龜山秀郎（七松幼稚園）
瀧谷桂子／本木昭子（百合学院幼稚園）
今泉信宏／今泉信宏（武庫之荘幼稚園）
田野島孝道／田野島道臣（明和幼稚園）
松本宜泰／松本明美（みのり幼稚園）
高島政行／横岩真希子（みこころ幼稚園）
濱名 篤／賀前智美（難波愛の園幼稚園）
中澤卓浩／中澤卓浩（常光寺幼稚園）
濱名 章／濱名好子（梅花東幼稚園）
濱名 章／濱名好子（梅花幼稚園）
島岡住子／島岡住子（母智幼稚園）
中西純平／中西利栄（くいせようちえん）
保科眞琴／保科眞琴（めくみ幼稚園）
秦 賢志／小寺由起（はまようちえん）
二渡 清／二渡智香子（しもさかべ幼稚園）
濱名 浩／濱名 浩（立花愛の園幼稚園）
濱名 浩／濱名清美（武庫愛の園幼稚園）
竹島 伸／竹島澄子（たけぞの幼稚園）
小西 理／北村保子（からたち幼稚園）
小西 理／小西純子（武庫からたち幼稚園）
小西 理／小西 理（武庫東からたち幼稚園）

編集

中西利栄

尼崎市私立幼稚園連合会 会長
くいせようちえん 園長

秦 賢志

はまようちえん 理事長・ディレクター

協力

兵庫県企画県民部管理局私学教育課
尼崎市 総務局ほか
尼崎市教育委員会
尼崎市立地域研究史料館（尼崎市総合文化センター7階）
兵庫県私立幼稚園協会

参考文献

尼崎市制100周年記念 「たどる調べる 尼崎の歴史」上 2016 尼崎市
尼崎市史 第九巻 1983 尼崎市
尼崎市統計書（1975年まで掲載の各巻） 尼崎市
尼崎市戦後教育史 1974 尼崎市教育委員会
続 尼崎市戦後教育史 1993 尼崎市教育委員会

編集協力・デザイン・撮影

堤谷孝人（ルートツー）

尼崎市市制100周年記念
尼崎市私立幼稚園連合会65周年記念
尼崎の子どもたちと共に
～尼崎市私立幼稚園連合会加入園の教育・保育～

2017年3月15日 発行

編著者 尼崎市私立幼稚園連合会 ©2017
発行者 尼崎市私立幼稚園連合会 会長 中西利栄
発行所 ひかりのくに株式会社

※本記念誌の写真・イラスト・文章などを無断で転載・複製することを禁じます
JASRAC 出 1701872-701